



ROTARY CLUB OF KASHIWA-NISHI

第2790地区

# 柏西ロータリークラブ

創立:1975年11月7日 承認:1975年11月24日

会報 第1633号

## 第1660回 例会【2010.3.26】

会長／金本元章

幹事／小林太時

### 四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



■ 柏西ロータリークラブURL <http://kashiwa-nishi-rc.com/>

■ 第2790地区ロータリークラブURL <http://www.rid2790.jp/2009/>

### 第1660回例会 2010.3.26

- |         |   |      |    |
|---------|---|------|----|
| 1. 点    | 鐘 | 金本元章 | 会長 |
| 1. 会長挨拶 |   | 金本元章 | 会長 |
| 1. 幹事報告 |   | 小林太時 | 幹事 |
| 1. 卓話   |   | 鈴木啓之 | 様  |
| 1. 点    | 鐘 | 金本元章 | 会長 |

### 会長報告

金本元章 会長



みなさん、こんにちは。

最近、よく聞かれることに金本さんラーメン屋さんを始めましたか？

ラーメン屋ですか、やってないけどどうしましたか？ しばらくするとまた別の人からラーメン屋さん始めましたか？ ラーメン屋さんは、おろかここ数年、新しい事はやっておりませんよ。

つい最近、その理由がわかりました。たまたま春休みを利用して、大阪から孫が遊びに来ていたので。たまには、一緒にお昼でも食べようとステーションモールに行き、何階かのフロアーをうろうろしていたら、目の前にまるきんラーメンの看板が飛び込んできました。そこで、ようやく謎が解けました。そういうことでしたか、店名は平仮名と方仮名の違いはありますが、同じ名前のお店でした。同じ名前ということで親しみを感じました。時間があつたらこんど、食べにしてみようと思います。

さて、本年度も残すところあとわずかでございますが、2009-2010年度RI会長賞の締切日が、今月の31日ということです。受賞資格を得るには、会員目標を達成し、2009-2010年度会長賞要綱の6分野から3つを選び、合計3つの活動を完了しなければなりません。3つの分野はクリアできましたが、会員目標の1名の会員純増が必須事項になっています、今日の段階では残念ながらまだ達成出来ていません。締め切りの31日迄、あと6日間ありますから、諦めずに新

入会員の勧誘を皆さんにお願い致します。

本日の講師としてお呼びしました、鈴木牧師との最初の出会いは、ニューヨークタイムスで取り上げられた時の写真でした、ある意味で衝撃的な出会いでした。本当の出会いは、つい最近の事で、ご縁があつて元参議議員の平野貞夫先生の出版記念パーティに出向いた際に、偶然に会場内でお会いしたのが鈴木牧師との最初の出会いでした。NPO法人「人生やり直し道場」を柏に設立され牧師以外にも講演活動等含め大変多忙な方だと富士川さんから聞いておりました。是非お話を聞きたい思い、富士川さんを通じ柏西ロータリークラブの卓話にて講演をしていただけないでしょうかとお願いした所、快くお引き受け頂きました。鈴木牧師、どうぞ宜しくお願い致します。

■ 例会日／金曜日 12:30~13:30

■ 例会場／ザ・クレストホテル柏  
〒277-0842 柏市末広町14-1

TEL.04-7146-1111 FAX.04-7146-2100

■ 事務所／〒277-0011 柏市東上町7-18

柏商工会議所会館 505

TEL.04-7162-2323 FAX.04-7166-8282

E-mail: kashiwanishi@io.ocn.ne.jp

## 卓話

### シロアムキリスト教会 牧師 鈴木 啓之 様



皆さんこんにちは。素晴らしい会にお招きいただきありがとうございます。今日は与えられた時間の中で少しですが、人生を垣間見た事をお話させていただきますと思っております。

実は何上「人生やり直し道場」という大きな看板を立ててその下に申し訳ない程度でローマ字で「シロアムキリスト教会」というと、この20年間の間に多くの人と関わらせていただき、自らもそうですが、人生やり直したいという想いを持った時に飛び込んでいける間口が一つの宗教という世界ではあまりにも狭くて、どんな人でも飛び込んでいただける世界を作りたいというのがずっと夢でした。

夢というのは見続けなければならない。語り続けなければならない。そんな事を思いながら活動しながら、丁度一年半ぐらい前でしたが、この柏の地であるビルを作ったらどうだという風に言って下さる人がいて、船橋からのこの地に移り住む事になったのです。

柏という地は全く知りませんでした。生まれ育ちは関西、大阪の人間ですからそういう意味では関東そのものがよく分かってはいなかったのですが、何か導かれるようにして柏の地にこうして来させていただいて、そしてリトル渋谷と言われているこの街で、一体自分たちに何が託されているんだろうか？そんな事を夢に思いながら今まで一年半活動させていただきました。

私は府中刑務所で教誨士という仕事をしているのですが、刑務所の中の人たちにもこの人はほんのちょっと違っていれば恐らくこんな結果にはなかっただろう、ほんのわずか誰かが受け皿になってあげる事ができれば、身元を引き受けてあげる事ができたら、そんな人を随分見てきたのです。人生ってどこかでバランスが崩れると思うのですが、その瞬間というものは誰にも分からないと思うのです。

自分で決断した、本当にその決断があまりにも短絡的であったりとか、いや、追いつめられていた中で仕方なく、余

儀なく決断したのか？それば別としても結局選び取った自分自身の決断によって、その後の人生というのが決まってしまうのですが、彼らの人生を見ても、自分自身の人生を見ても、もしこの時に誰かが声をかけ、誰かが手を伸ばしてくれていたら…そんな思いがずっとありました。

切羽詰まって人間が最後の最後もし扉を叩くことができる場所、それはひょっとしたら宗教という扉かも知れません。でも宗教と言っても皆が救われる訳ではなく、多くの宗教の中には如何わしいものがありまた、それを通して自らだけではなくその家族までもおかしくされてしまうものがあるという昨今です。

私は今から20年前人生に行き詰ってヤクザの世界で17年生きました。欲望のままに生きて何でもできると自負があったのです。当時「実話」という週刊誌に若き博徒ナニワに現れると書かれ、正直関西でナンバーワンのぼくち打ち、ギャンプラーだと思っていました。少し言い過ぎかと思いますが、少なくとも三本の指に入るという自負がありました。2軒のカジノを経営しバブルの走りの頃面白いようにお金を儲けて、湯水のようにお金を使っても一生涯に困る事はない、そう思っていました。

一番最初ヤクザの世界に飛び込んだ理由はヤクザと喧嘩した事でした。殴った相手がヤクザだったので。慰謝料出せと脅かされてその後数十人に袋叩きにされ慰謝料を欲しいのは私だったはずなのになぜこんなに恐怖を感じるのだろうか。16歳、17歳です。一生懸命考えても、考えても答えが見つからない。本当はあの時親にでも相談すれば良かったのです。どうしていいが分からない。やり直すためには何が必要なのだろう…結局誰にも相談できないでいた丁度その時期学校を中退していました。おかしなものです。そんな馬鹿なという事が人生の一コマに押し重なるように起こる事があるのです。悪い事はこのような事が多いように思います。

私のその時一緒に退学になった仲間の一人がなんと伯父さんがヤクザの親分で、ヤクザと何の接点も無かったのに、彼の伯父さんがヤクザであるという事で、脛に傷のある者同士が傷を舐めあうように一緒に生活をしてました。ヤクザの事務所についての間にか出入りするようになり、ヤクザの人たちに連れられて夜の繁華街に出ると綺麗に着飾った人たちが皆頭を下げるんです。

彼らに力があるからではない。彼らの属している組織に対して恐怖を覚えている、何らかのメリットがあるから彼等は頭を下げているだけで、その本質が見抜けない私にとっては憧れの的になってしまった。いつしかそういう人を身近に感じるようになって自分も何かそういう人を知っているんだという事だけで、どこかで強くなった錯覚に陥ったのです。

でもその問題に立たされて、慰謝料出せと脅かされた時私はこの人間がヤクザだから怖いだけで自分もヤクザになれば何も怖く何ではないかってそんな馬鹿げた思いを持ってしまったのです。すぐ扉を叩けば開いてくれる所が友人の伯父さんの所にありました。

飛び込んだ所が関西で一番大きな博徒の組織でした。ただその中で自分を誤魔化しながら一生懸命生きたのです。私のヤクザの人生の17年というのはヤクザではないですね。役者だったのです。一文字違いですけど演じ切った人生だったように思います。結局は組織というバックグラウンドを移動して生きていただけ、それからお前何だと突きつけられた時私は全てを一瞬にして失った気持ちになりました。

当時子供が生まれて間もない頃で家内は韓国から出稼ぎに来ていてお互いに価値観はお金でした。お金さえあれば幸せになれると思って共有の価値観を持って生きました。ところが、お金が出来た時ほとんど家には帰る事がありませんでした。夜の街で好きなようにお金を使い、手を伸ばせばどこへでも付いてきてくれる人達がいました。結局お金は私達家庭の本当の問題の引き鉄にしかならなかった。お金の振り回され、お金とは振り回して初めて有益に使う事が出来るにも関わらず、そのお金の振り回されることによって一番大切なものを失いかけていたのです。家内は不安でしたが、その不安が的中するように私は組織の中でトラブルを起こして結局最後の最後は組織から殺されるしかない状況に来た時足手まといになる自分の妻と子供を捨てるという事は私は決断するのです。

俺は強いんだ。黙って俺に付いて来い。格好良い事を言いながら生きてきた自分が最後の最後何と自分が守ってやらなければならない、助けてやらなければならない自分の子供も妻も犬や猫を捨てるように平気で捨てたのです…そんな男に成り下がってしまった姿を直視する事も出来ないで、現実を誤魔化すために酒に逃げ、麻薬に逃げました。そして一人の女性を連れて、自分の言

う事だけを聞いてくれるとどこかで思い違いをした女性を連れて私は生まれ育った大阪を捨て東京に逃げました。その後妻と子供が組織に追われどのような状況に置かれたか想像しても言葉に言い尽くすことができません…でも強いと言い切っていた自分は怯えながら震えながの逃亡生活。

守ってやなければならない弱いはずの妻がどんなに脅されても体をかけて我が子をしっかりと抱き抱え守りながらどこにも逃げないでそこから一步も動かない…人間の強さって何なのか…人の本当の真の強さって何なのか…私には分からなくなって来ました。ただその現実を直視できない、その現実を認める事ができない。そうするといる場所を失うのです。

右も左も分からない東京で不安は不安を煽りやがては麻薬から来る幻覚で悲惨な最期を遂げる自分を見ました。どうする事も出来ないボロボロな状況で何度も何度も死のうとしました。だっけ行く場所が無いんです。どこにも落ち着ける場所が無いんです。

人にあってはならない前科と刺青があり、なくてはならない指をこうして短くし親も死んでいない、兄弟も死んでいない、唯一の身寄りである妻と子供をこうやって捨ててきて、何もかもない、手に職もなければ学歴もないそんな人間に一体何が出来るんだって、お前の人生終わったんだって、死んだら楽になるぞって、最後に聞こえたのはその声でした。

でも死ぬるときか手が震えて脂汗が出て、本当は死ぬ事なんて出来ない卑怯な、本当は弱い醜い人間でしかない。ボロボロな中で生きるすべを失い、死ぬ事も出来ない廃人同然の中から私は考えてもいない扉を叩くのです。夢の中で見た恐ろしい形相で睨みつけ、ざまあ見ろとあざけ笑うように見えていた妻。あれは麻薬から来る猜疑心だったのか幻覚だったのか追いつめられた精神的なものから見たものだったのか今でも分かりません。ただ、妻がたまたまクリスチャンでした。キリストを信じる人でしたから私から迫害を受けても聖書を通して逃げ道をちゃんと知っていて守ってくれる目に見えないのですけど一番馬鹿にしていた事でした。

手に掴めるものと目に見えるもの以外信じないと言って生きていた人間が、その同じ価値観を持っていると思っていたあの家内があのどん底の中でまだ強く生きていたその背後にあったものは目に見えるものではなくて、目に見

えない家内を支えてくれる不思議な力だったのです。

私は全てを失って支えを無くして、どこにも行けなくなって呪い殺されるんだって、あいつが信じる神に、そうおじいちゃんおばあちゃんが幼いころ良く言っていた「おいヒロ坊お前そんな悪い事したら罰あたるぞ」そう、世にもし神仏がいるならばそれはきつと罰を与える。俺は罰が当たって当然なんだって思っていました。

そんなどうする事もできない悲惨な中でどうする事もできない考えの中で私は新しい一步を踏み出すんです。それは自分の命乞いをするために飛び込んだ教会からだったのです。

別にそこに行ったからと言って何かなる訳ではない。別に罪を悔い改めるために行った訳でもない。ただ自分が助かりたい一心で、どこまで行っても自分が可愛い、ただそれだけで飛び込んだ場所でした。でも人間が意識的であろうと無意識であろうと何か事を始めようとする時、その中で何かを見つけられる人と何も見いだす事の出来ない人と二つのタイプがいるという事を知らされました。

私は決めたんです。私は前科者です。刺青もあります。指もちょっと短いです。でも過去の自分を変えられないけど、これからの人生を通して少なくとも神様って大きな声で言えないけど、少なくともカミサンに認めてもらえるような、そんな人間になりたい。だからどうぞ見守ってやって下さい。どうぞお気づきの事があったらご指摘下さい。

そういう気持ちでこの20年歩ませて頂いたのです。私はチャレンジし続けたのです。こんな場所を与えて下さい、刑務所の中に居る人達に諦めるなという声を。私のような者が絶対に入って行けない世界でしたから。前科者で刑務所に2回も受刑者として私も生活していますから、ましてや組織の前科のある人間は刑務所では活動できないのです。でもそのような活動をチャレンジし続けて行く事の中で、日本は外国のものに弱いんですね。海外で、国際的な団体の日本のチェアマンとして立った時戸が開かれて、日本で第一号のそのような活動が出来る。昔は手錠をはめられて、怖い顔で睨まれて入れられてたんです。今刑務所の入り口で最敬礼して頂いて、先生どうぞって…。人生分らないものですね皆さん。諦めちゃ終わりですよ。諦めちゃ終わり。だから私は皆様にお願ひしたいのは、柏の駅前まで最近ずっとピラを配ってる

んです。こう言うピラを、それもちょっと強面の人もいますから。大丈夫かなこのオジサン達って思われるかも知れませんが。道場のジャンパーをもっと明るい色にすれば良かったんですが、紺色の何となく胡散臭そうに見えるんですね。でも純粋な想いでこのようなピラを配ってます。それはこの柏で何か出来る事があるのではないのか、この柏、そうだここから日本がひとつとしたら変わる事があるかも知れない。そのような事を夢見ながらですね、こういうものを配らせて頂いているんです。

またどこかでお会いする事があれば声を掛けてやって下さい。そして是非本当に行き詰って苦しんでいる人達がいたら、何かそんな道場の事をご案内して頂けたらありがたいと思っております。

今日は貴重なお時間を頂いて本当にありがとうございます。

謝 辞

金 本 元 章

鈴木牧師の劇的な人生を元に、「人生やり直し道場」というテーマでお話しをして頂きました、今までの鈴木牧師の人生に起きた出来事や揺れ動く心を分かりやすくお話をされておりました。その中で牧師は、ピエルドシャルマンも肯定の哲学でチャンス・チェンジと言っている。自分自身、思う事(チャンス)から変えることが出来る形に表し自分の弱さを克服し(チェンジ)したらチャレンジを始める。今出来ることからやって行け、やらないといけないことを一つずつやり続けて行く事で、生きがいを見つける事が出来る。「過去は変える事は出来ないが、未来は変えられる」思う事がチャンスであるとお話をされておりましたが、まさに本年度、中村ガバナーの地区テーマ“Change & Create”(変革し、創造しよう)に通じるような、お話を頂戴いたしました。

今後も、今活動されている青少年育成のための講演活動や府中刑務所の教誨師など様々の分野でお忙しいと思いますが、お身体に留意され益々のご活躍をお祈り申し上げます。

## 幹事報告

小林 太時 幹事

1. 3月21日（日）の献血キャンペーン結果報告
  - \* 200ml = 19名
  - \* 400ml = 65名
  - \* 成分（白血球のみ） = 44名
  - \* 不適 = 22名      合計171名
2. ゆめ半島千葉国体・千葉大会募金の依頼（4月末日まで）
3. 例会変更のお知らせ  
印西RC：  
3/31（水）13：00～ごみゼロ運動（小林牧場）  
18：00～夜間例会  
4/14（水）第9分区6クラブ合同例会  
4/18（日）・19（月）親睦旅行  
4/21（水）振替休会  
沼南RC：  
4/1（木）米山奨学生送別会  
4/22（木）は振替（4/20）休会  
我孫子RC：  
4/6（火）家族親睦旅行  
4/20（火）第10分区親睦ゴルフ及び合同例会  
松戸西RC：  
4/7（水）夜間移動（観桜）例会  
4/21（水）創立25周年記念事業のため移動例会  
柏RC：  
4/21（水）は振替（4/20）休会
4. 受信
  - ・ 社会奉仕委員会便り
  - ・ 柏南RC 古谷彊会員より文集「私とロータリー」
  - ・ 流山RCクラブ会報
5. ポリオ募金（3.19現在）  
102,958円の内100,000円をポリオプラスへ寄付します
6. チリ地震義援金のお願い

### ◇今日のお料理◇

「和洋菜ランチ こよみ」  
20種類以上の千葉の幸が彩る  
和洋創作の絶品ランチ

- 〈洋〉カブと大和芋のムース  
イチゴのソースとともに  
菜花とスモークサーモンのロール仕立て  
ダイヤモンドポークのソテー  
粒マスタードソース  
さつまいものピュレとニンジンターサイを添えて
- 〈和〉銚子産真鯛と千葉野菜の取り合わせ  
大根・カブ・ほうれん草・ミニトマト・牛蒡チップス・胡麻ドレッシング  
金目鯛の中華風蒸し  
にんにくの新芽・ニラ・白髪葱・三ツ葉
- 〈お食事〉多古米コシヒカリのとろろご飯  
鯛辛煮・山葵
- 〈デザート〉マンダリンのムース  
リキュールトマト



### ◇今日のビジター◇

#### ◆お客様

元参議院議員・政治評論家  
平野貞夫様

湯浅税理士事務所 税理士  
湯浅千晶様

ロータリー財団  
国際親善奨学生候補者  
柳田健介様

### 🎉 BOX ありがとう!

★お誕生日おめでとう!

佐藤尚文 会員

★パートナー誕生日おめでとう!

吉野一實・板倉 茂 会員

★写真ありがとう!

板倉 茂 会員

★本日、次男が卒業しました!

杉山 智 会員

★入会満5年になりました。今後とも宜しくお願い致します。!

升谷 庸 会員

### 📎 出席報告

会員数	53名
欠席者	9名
小澤、染谷、高田、田代（充）、丹藤、日暮（肇）、日暮（誠）、吉野、渡邊	
出席率	83.02%

●次回の例会は 4月 9日(金)です。

クラブ会報委員／水野 晋治・渡邊 雅志  
田代 健一・秋山 弘昭

欠席報告は、水曜日の正午まで

※食事の無駄をなくする為に協力して下さい。

水野 晋治まで：090-8035-3777